

## 「2009年度 第2回 番組審議会 議事録」

### I. 開催概要

#### 1. 日時場所：

2009年8月26日（火） 15：15～16：20

@東郷記念館 オークガーデン

#### 2. 審議委員：

阿部敬悦（株式会社講談社 第六編集局局長）

浮田周男（株式会社ジェー・プラネット エグゼクティブ プロデューサー）

斎藤汎司（株式会社トムス・エンタテインメント スーパーバイザー）

副島恒次（舞台・TV演出家：バウ・スプリット株式会社 スーパーバイザー）

田口成光（脚本家・放送作家）

宮下友美恵（学校法人静岡豊田学園 静岡豊田幼稚園 園長）

計6名

〔欠席〕高芝利仁（弁護士：高芝法律事務所）

#### 3. 事業者：

〔経営〕中田善文(代表取締役社長)

〔編成〕因真一郎(放送本部長)、岸田康人(編成部長)、山本 晋(編成部長代理)

〔制作〕押田聖弘(制作部長)、北口拓也(P)

〔事務局(記録)〕青木恒子(広報室)

計7名

### II. 議事内容

#### 1. ご挨拶

貞松取締役より、以下報告を行った。

本年3月にCS110度委託放送事業者の募集があり、審査の結果、当社が認定された。

来春より、スカパー！e2でHD放送が開始される。

HD比率の向上ならびに字幕放送などにも対応していく。

当社の知育情報番組である「ハッピー！クラッピー」の公開収録を府中で先日開催した。

大勢の親子が観覧した。番組を通じてお客様とふれあう機会を今後も積極的に作っていき  
たい。

#### 2. 番組審議

審議対象番組：『クロスゲーム』 司会進行：宮下友美恵委員長

投資作品である『クロスゲーム』について、事業者側より企画・詳細説明を行い、審議を行った。

(企画・番組説明) 沼生編成部長、坂本プロデューサー

(配布した資料に沿って説明) クロスゲームは当社の投資作品。

『タッチ』で有名なあだち充先生の作品であり、青少年に対しても健全なイメージもあることから、投資するに至った。(沼生)

あだち充先生は『タッチ』『みゆき』『H2』など、映画化された作品も多い。『クロスゲーム』は少年サンデー連載の最新作で、コミック累計は 900 万部。昨年の小学館漫画賞少年向け部門の受賞作品。

30 代、40 代前半の根強いファンを持っている。

当社でのターゲットは、teen を含めた現役のサンデー読者。セカンド・ターゲットとしては、30～40 代を設定し、地上波の 3 ヶ月遅れで、7 月 15 日より、当社での放送がスタートした。(坂本)

<審議委員意見>

第 1 話を 3 回みだが、まったく文句のつけようがない。主人公が心を寄せる少女が死んでしまう展開なども文学性があり、色使いも上品で全体の色調が実に綺麗だ。

キッズステーションで放送することの意義は大きい。エンディング曲が特に良かったので、『アニぱら音楽館』で扱っても良いのではないだろうか。

エンディング後の女子の高校野球の紹介が唐突な印象を受けた。

原作との違いを認識しつつ、楽しむことができ、若い人だけではなく、年配者にも受け入れられる作品だと思った。

色々なアニメがある中、『クロスゲーム』のような長く残るアニメも必要だ。投資回収の論理からすると厳しい面もあるかと思うが、そういうことばかりを見ていたら、アニメの世界が痩せ細ってしまう。次世代に残るものを作っていく。その辺を、経営にも株主にも分かってもらわないといけないと思う。

放送は 1 週間に 1 度とのことだが、自分が子どもの頃の記憶を思い起こしてみると、毎日帯で放送するほうが印象に残っている気がする。続けて放送はできないのか。

<事業者側回答>

色使いや質感、ストーリーについては、制作サイドもあだち先生の世界観を壊さないよう

にかなり気を遣っている。

エンディング後のおまけ映像は、夏休みということで、野球をやっている中学生をターゲットにしている。

刺激臭の強いものでない分、子どもだけではなく、その親も巻き込んで、ストーリーを堪能してもらえれば嬉しい。幅広い層に長く愛される作品を作っていくことは、非常に大切なことだと思う。

第1話の上映会を終え、当社としてこの作品に参画できたことに感動し、誇らしいと感じた。『アニぱら音楽館』で、岩崎良美さんがライブで「タッチ」を歌うなど、『クロスゲーム』をきっかけに、過去のあだち作品含め編成企画を行った。古い作品だが、現在放送しても色褪せず、質的にも耐えられる作品だとあらためて認識した。

当社の放送では、週末追っかけ放送、深夜再放送、一挙放送なども考えている。あだち充世代に経年劣化しない良質な作品を堪能してもらいたい。

### 3. 報告事項

7月、8月編成ならびに編成企画について報告（編成部長：沼生祐介）

配布資料に沿って以下報告を行った。

#### 7月編成

・機内専用作品である『ポケットモンスター』のOVAをテレビ初放送、『クロスゲーム』『めちやモテ委員長』『ジュエルペット』などの新作放送もスタートし、小学生とその親に向けた編成強化

#### 8月編成

・劇場版アンパンマンの一挙放送を編成。

アンパンマンを見たいのでキッズステーションに入りたい、という声を多くいただいた。

#### 編成企画

・『クロスゲーム』『劇場版タッチ』『タッチ（TVシリーズ）』など、あだち充作品をスペシャル放送の他『アニぱら音楽館』ではゲストに岩崎良美さんを迎え「タッチ」の名曲をライブで演奏。

『アニメぱらだいす!』では同じく「タッチ」の上杉達也役・三ツ矢雄二さんと浅倉南役・日高のり子さんをゲストに迎えアフレコ秘話を披露いただくなど、タッチの特集を行い、反響もいただいている。

・8月15日の終戦記念日企画では、『青い記憶』という作品を放送した。当社ならではの放送ということで、お客様からお褒めの声をいただいた。

<審議委員意見>

アンパンマンの一挙全国放送というのはいい。三波共用テレビが更に普及すると楽しみだ。

平和を考える企画は、侵略戦争だけの局面ではなく、戦争と子どもというテーマを切り口に企画を考えるのも、ステーション・イメージからしても良いと思う。

他の専門チャンネルなどでよく見る、番宣枠というのはあるか。自社編成企画などの、番宣番組を作ってはどうか。

<事業者側回答>

現在は、番組と番組の間に流れるスポット CM しか制作しておらず、番宣番組の必要性を感じている。

是非検討したいと思う。

ー以上をもって本日の番組審議会の議事全てを終了した。

以 上